

13 施設設備

進捗状況報告

2003年度に設定した目標に関する進捗状況は以下の通りである。

- ①「情報機器、AV設備の充実と効率的な利用」については、日常的・継続的に取り組んでいる。
- ②「共同研究室、実習指導室、教材開発室、実験室、調査実習室の設備・機器の充実と効率的な利用」についても、五室連絡室を中心に日常的・継続的に取り組んでいる。
- ③「建物内禁煙などによるアメニティ向上」については、これまで教授控え室に設置していた喫煙スペースを2004年度より廃止し、社会学部の建物内は完全禁煙となった。
- ④「身体障がい学生のための設備、機器の充実」については、2006年度から、視覚障がい学生用の「読み上げソフトつきパソコン」(2台)を設置している。(なお、聴覚障がい学生のために、2004年度から、ノートテイク制度を導入している。)
- ⑤「設備・機器の管理体制の充実」については現在まで未着手である。

2005年度自己点検・評価の「改善の具体的方策」における「社会学部2号教室のAV設備の充実」については2006年度中に工事を行う予定であったが、諸事情のため現在まで実現されていない。「共同研究室、実習指導室、教材開発室、実験室、調査実習室の設備・機器の充実」については、五室連絡室を中心に、大判プリンター・液晶プロジェクター・DVDカメラの導入(2007年度)など、各年度において日常的・継続的に充実を図っている。「ホームページの充実と活用」については、現在まで具体的な検討はなされていない。今後の課題である。

学内第三者評価

大学及び学院全体と関わる問題であるが、制約があるなかで、情報化や障がい者のための設備、アメニティなどの課題について、着実な改善が進められている。

今後は、懸案となっている社会学部2号教室のAV設備の充実、ホームページの充実と活用、設備・機器の管理体制の充実などへの取り組みが望まれる。